

参 考

県公式HP

ホーム>県政情報>県概要>組織案内>愛媛県の組織と主な仕事>農政課>【農林水産部】西日本豪雨災害からの復旧・復興の取組について

西日本豪雨災害からの復旧・復興の 取組みについて

令和5年6月

愛媛県 農林水産部



1 農業関係の被害状況と復旧状況

【1】西日本豪雨による樹園地の被害状況

【農業関係被害額】

区分	被害額
農地・農業用施設等	354 億円
農作物等	113 億円
畜産	8 億円
計	475 億円

〔内訳〕農地・農業用施設等

区分	件数等	被害額
農地	608 ha	147.5 億円
ため池	187 件	32.7 億円
農業水利施設	1,273 件	86.2 億円
農道	1,984 件	77.3 億円
海岸保全施設等	51 件	10.0 億円
計		353.7 億円

※農地の被害面積の約5割(299ha)が樹園地

〔内訳〕農作物等

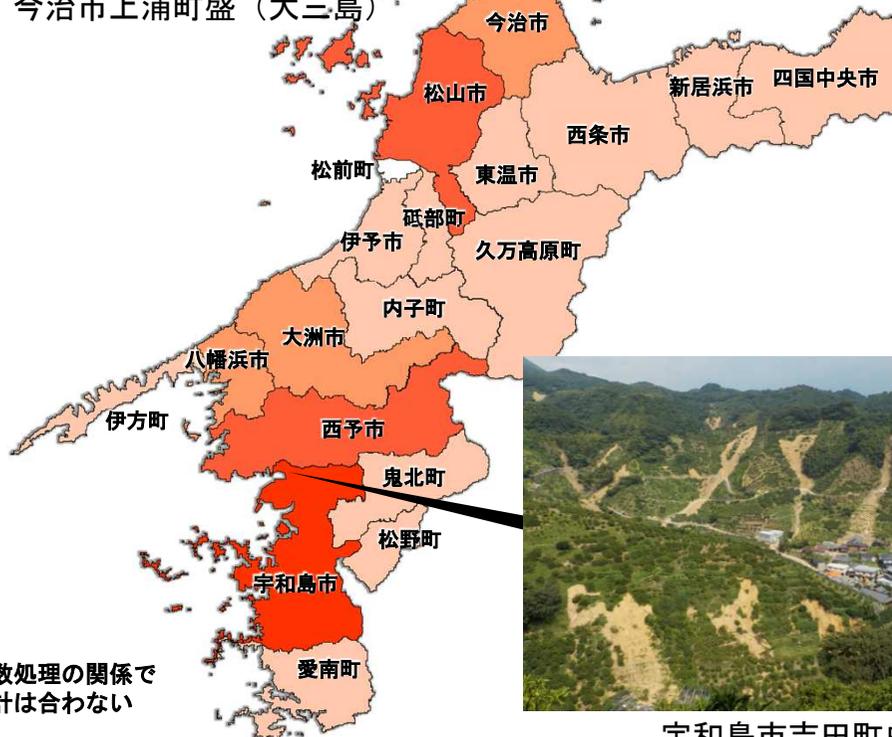
区分	件数等	被害額
農作物	1,342 ha	31.2 億円
樹体	451 ha	15.9 億円
農業用ハウス等	11,710 件	62.0 億円
共同利用施設	17 件	4.0 億円
計		113.2 億円

※農作物・樹体の被害額の約9割が柑橘

宇和島市、西予市、松山市、今治市の沿岸部、島しょ部を中心に樹園地の崩落等の被害が発生。



今治市上浦町盛(大三島)



※端数処理の関係で合計は合わない

農業関係被害額	凡例
0	
0～10 億円	
10～50 億円	
50～100 億円	
100億円～000	



宇和島市吉田町白浦

【2】 樹園地の復旧に向けた工程

- 崩落園地の再建は、現地の地形や被災状況、地域の意向等に基づき、「原形復旧」「改良復旧」「再編復旧」の3つの復旧方法で対応。
- 甚大な被害を受けた地域では、県・関係JA・市町で「南予地域柑橘農業復興対策チーム」「中予地区柑橘農業復興・再生ワーキングチーム会」「上浦地区早期復興ワーキングチーム」を設置し、再編復旧や未収益期間対策等の取組を支援。

項目		取組内容					
		H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023) ~
崩落を免れた園地	営農継続のための対策	<ul style="list-style-type: none"> ・農道 仮復旧・迂回路確保 → 本復旧 ・パイプライン 仮復旧（通水確保） → 本復旧 ・モノレール 復旧 				完了	
	営農支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ドローンによる応急防除 ・アルバイター、ボランティアの確保 					
崩落園地	未収益期間対策	<ul style="list-style-type: none"> ・代替地のマッチング ・早期成園化のための大苗生産等の導入 					
	園地の復旧	原形復旧	国の災害査定	測量設計	復旧工事		復旧済面積 98% (5月末現在)
		改良復旧	測量設計		区画整理工事（1～2年）		完了
再編復旧	崩落していない園地を含めた園地整備の検討（地元合意形成の支援）		計画策定	測量設計	区画整理工事（3～5年）		

【3】 樹園地の復旧（原形復旧・改良復旧）

原形復旧

崩落した部分を被災前に近い形状で復旧 → 305地区・40.8ha

40.1ha完成(98%)(5月末)

【宇和島市吉田町白浦】



被災状況



園地の復旧



苗木の植栽

豪雨による農地の崩落を防止するため、土留工を設置し階段状に復旧

改良復旧

崩落していない園地を一部取り込み区画整理を実施 → 3地区・2.7ha

完了

【松山市高浜】



被災状況



園地の整備



苗木の植栽、ハウスの建設

県、市、JAが「松山地区災害復興・樹園地再編ワーキングチーム」により復旧後の営農を継続的に支援

【4】樹園地の復旧(再編復旧)

再編復旧

周辺の崩落していない園地も含めて、災害に強く生産性の高い園地に再編 → 4地区

地区名	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	営農再開見込
①玉津 (たまつ) 宇和島市吉田町	構想検討 地元合意	計画 策定	農地中間管理機構関連農地整備事業 区画整理6.8ha (2工区)							R6年春 (一部園地)
②由良 (ゆら) 松山市興居島	構想検討 地元合意	計画策定		農地中間管理機構関連農地整備事業 区画整理9.7ha (8工区)					R6年春 (一部園地)	
③上浦 (かみうら) 今治市大三島	構想検討 地元合意		計画 策定	農地中間管理機構関連農地整備事業 区画整理6.8ha (3工区)					R6年春 (一部園地)	
④立間 (たちま) 宇和島市吉田町		構想検討 地元合意		計画 策定	畑地帯総合整備事業 (3工区) 区画整理4.0ha、農道、用水施設				R7年春 (一部園地)	

①玉津 園地の緩傾斜化と道水路整備による災害に強い園地づくり



②由良 「紅まどんな」等優良中晩柑のハウス団地化



③上浦 JAが担い手として参入、規就農者の研修に活用新



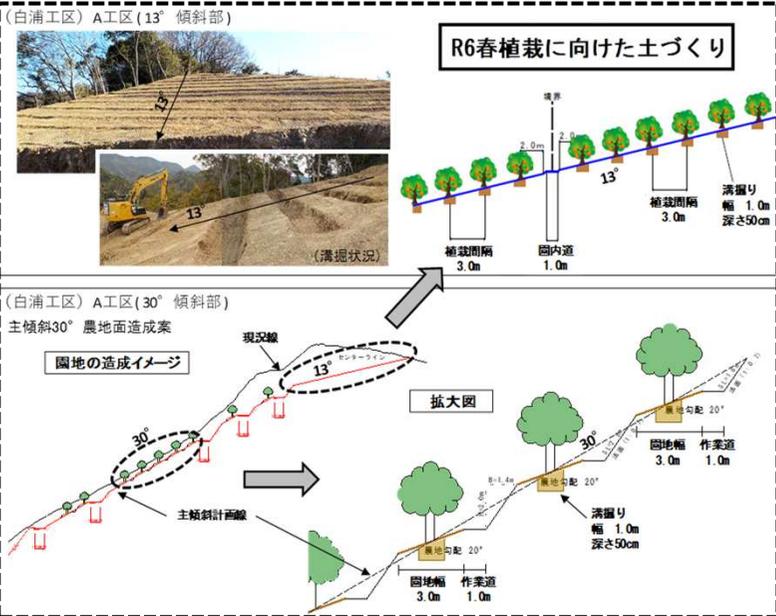
④立間 他事業の残土を活用し谷部を埋め立て、平坦な園地を造成



玉津地区 (宇和島市吉田町)



上浦地区 (今治市大三島)

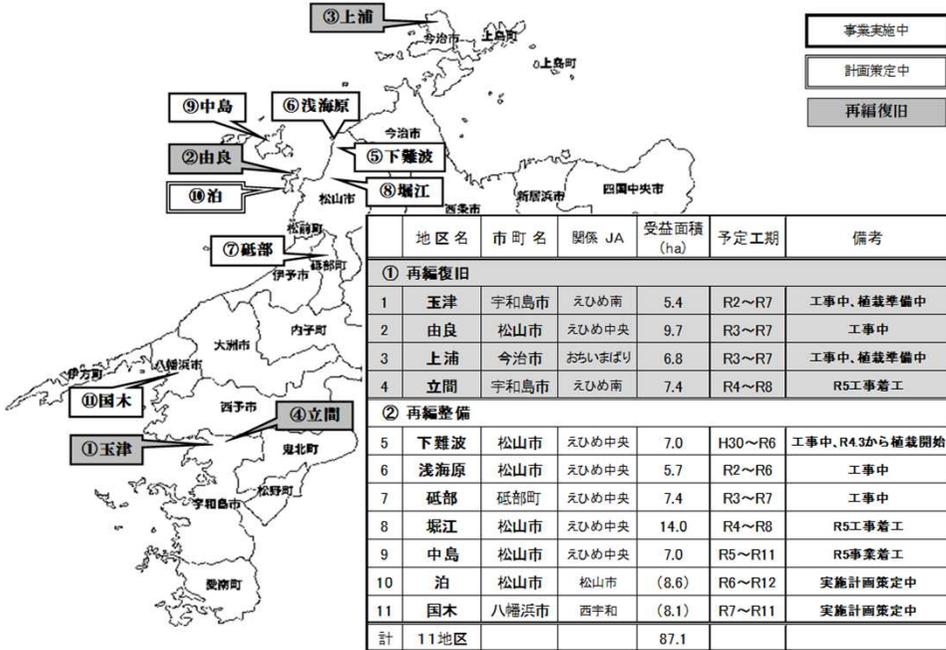


【5】樹園地の再編整備の取組み

再編整備

○優良品種への改植等にあわせ**高品質果実の生産や多様な経営に対応した園地に整備**

令和5年度 取組状況



小規模な園地整備

○**安価かつ短期間**で豪雨でも崩れにくい園地を整備



- 起伏のある園地を**優良中晩柑のハウス栽培**に適した作業性の極めて高い**平坦な園地に造成**
- あわせて**農道、用排水施設を整備**

災害に強い園地整備手法確立事業 (県単)

凡例

- 水食防止工
- 承継道路
- 作業道路
- 観水路

水食防止工

W=1.0m程度
t=0.1m

(みかんの運搬車)

【6】 農業用施設の復旧状況

① 農道 松山市由良

被災時（路側が崩壊）



復旧後



② ため池 宇和島市吉田町

被災時（堤体が破損）



復旧後

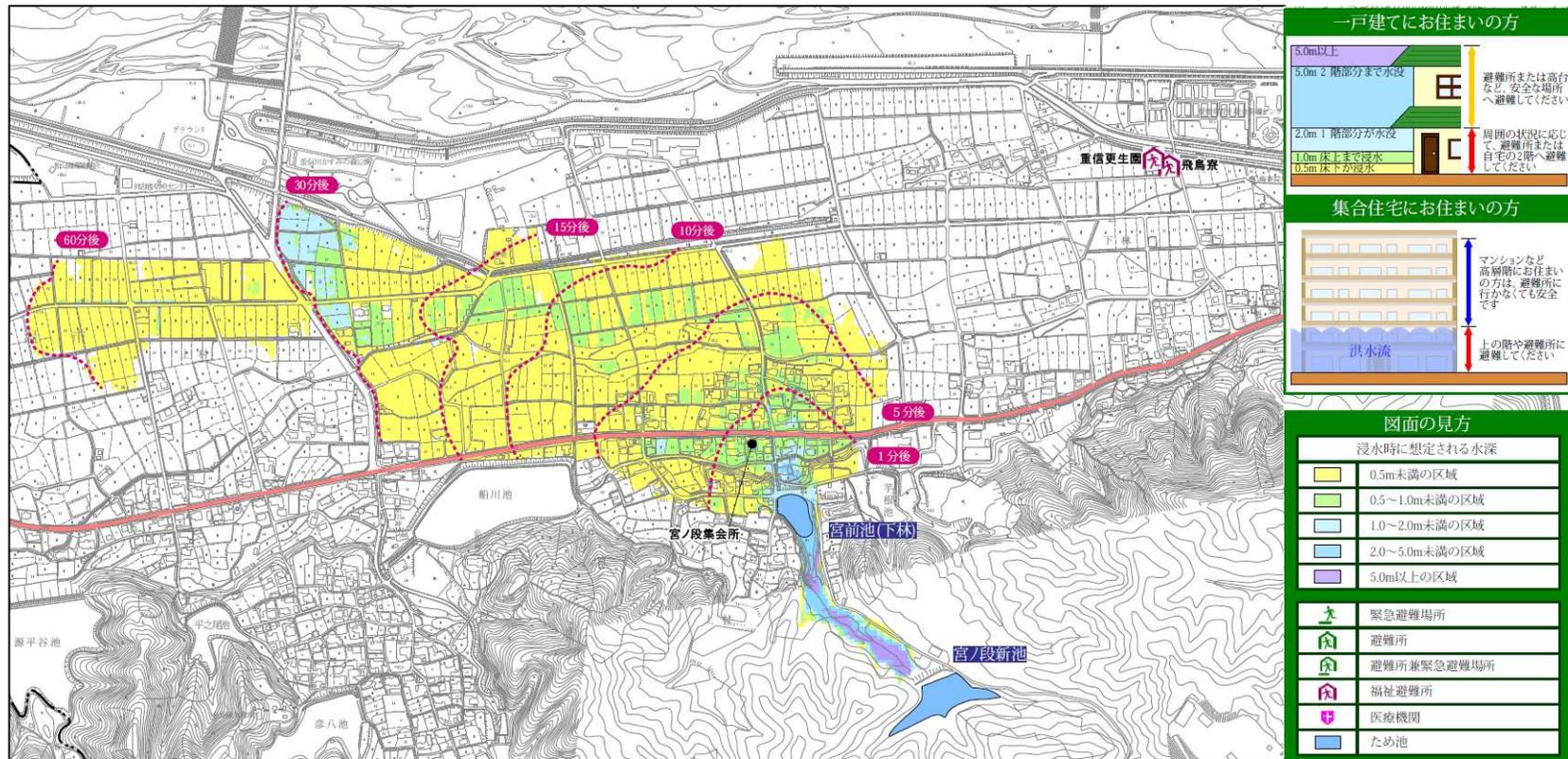


【7】 ソフト対策の実施状況

(1) ため池ハザードマップ

- 県内の防災重点ため池1,751箇所全てでハザードマップを作成済み。
- 県の「防災啓発ホームページ」に、市町が公表する関連サイトを掲載。
- 災害発生時の迅速かつ的確な避難行動、地域の日頃の防災・減災意識の向上に繋げる。

【ハザードマップの例】



(2) ため池管理アプリ

○スマートフォンで、行政機関とため池管理者間で、点検結果や被災リスク等をリアルタイムで情報共有。

○ため池管理者へ広く普及し、行政と一体となってため池の管理を行うことを目指す。



▲ 地図画面イメージ



▲ プッシュ通知表示イメージ

機能1 災害時の点検結果を、関係行政機関に共有できます

災害時に行う緊急点検^{※注}の結果をアプリから送信すると、市町村等の行政機関に即時に共有され、迅速な災害支援等につながります。



入力しやすい
一問一答形式



写真も送信可能

機能2 注意喚起等の情報提供をプッシュ通知で受け取れます

台風接近時等に、国や都道府県からの管理に係る注意喚起等を受け取ることができます。

プッシュ通知の内容(例)

気象情報に基づく注意喚起
(台風接近等)

管理のポイント

緊急点検の情報 など



プッシュ通知の
表示イメージ

機能3 電波が届かない場所でも点検結果を入力できます

電波が届かない山間部のため池でも、現地でアプリに入力しておけば、通信が回復した時点で自動的に入力内容が送信されます。



通信環境を気にせずに
点検を行うことができるよ

機能4 日常点検の結果も記録・共有することができます

日常点検の結果も記録し、過去の点検結果を閲覧することができます。



管理するため池を
地図上に表示

- ・点検結果に応じて、ため池の状況を色で分類して表示
- ・関係者との点検結果の情報共有が容易

機能5 GoogleMapsと連携したナビ機能も使用できます **New!!**

ため池の場所や現在地からため池までの経路を、GoogleMaps(グーグルマップ)で表示することができます。



GoogleMapsへの
リンクボタン



場所や経路を
GoogleMapsに表示

【8】 営農対策の実施状況

1. 被災地での営農支援体制

- ① 南予地域柑橘農業復興対策チーム「営農支援班」
【メンバー: JAえひめ南、宇和島市、南予地方局】
 - ・早期成園化のための大苗生産(R4:4,600本)
 - ・硬い土壌での定植作業用にレンタル穴掘り機を配備
- ② 中予地区柑橘農業復興・再生ワーキングチーム会
【メンバー: JAえひめ中央、松山市、砥部町、中予地方局】
 - ・早期成園化やたい肥の活用に関する実証圃の設置
- ③ 上浦地区早期復興ワーキングチーム
【メンバー: JAおちいまばり、今治市、今治支局】
 - ・早期成園化のための大苗(2年生苗)生産
 - ・一部を新規就農者のトレーニングファームとして整備する取組み



育成中の大苗（2年生）



根域制限栽培の取組み

2. 宇和島市の（株）玉津柑橘倶楽部の取組みを支援

- ・高品質果実生産のための栽培方法の実証
（根域(こんいき)制限栽培(14a)、マルドリ栽培(25a))
- ・早期成園化のための大苗生産(R5:1,900本)
- ・作業受託やボランティア・アルバイトの斡旋による農家サポート

2 畜産関係の被害状況と復旧状況

【1】被害状況

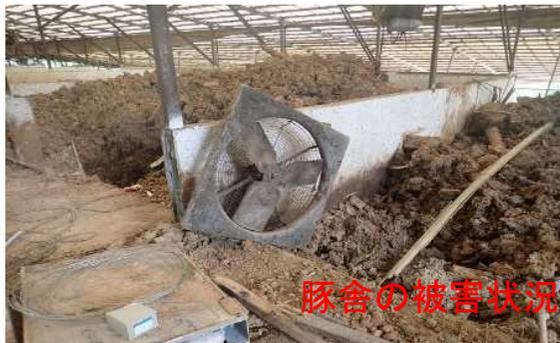
主産地である南予地域を中心に被害

区分	件数(件)	被害額(億円)
畜産用施設	49	6.7
畜産物(生乳廃棄等)	27	1.7
合計	76	8.4

【2】復旧状況

国の事業活用し、施設や機械類の復旧を進め、地盤の修復や家きんの導入は、県独事業の支援により平成30年度内に修復を完了

畜舎への土砂流入



豚舎の被害状況



豚舎の復旧

畜舎の陥没



牛舎の被害状況



牛舎の復旧

食肉処理施設の水没



JAえひめアイパックスの被害状況



JAえひめアイパックスの復旧状況

3 林業関係の被害状況と復旧状況

1. 進捗状況（令和5年5月末現在）

区分	被災箇所数	被害発生市町	被害額・事業費（千円）	完了箇所	進捗率（%）等
山地災害	103	西予市ほか10市町	6,357,268	75	73
	(47)	西予市ほか10市町	(3,030,468)	(47)	(100)
※下段（ ）は、緊急度の高い箇所（内数）					
林道被害	147	西予市ほか15市町	2,547,126	147	100
林産施設等	32	大洲市ほか6市町	被害額8.6億円	グループ補助金等の活用で復旧完了済み	
林産物	8	大洲市ほか3市	乾しいたけ・乾たけのこ 被害額1.2億円	自己資金で対応	

2. 主な復旧事例

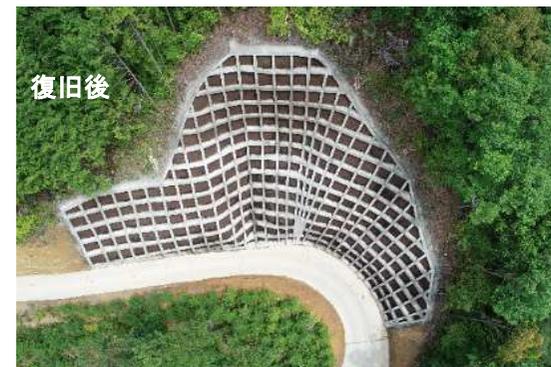
治山事業：西予市宇和町明間（四道）



治山事業：宇和島市吉田町法花津（大谷）



林道事業：西予市（セバ谷陰地線）



4 水産関係の被害状況と復旧状況

区分	件数	被害額（千円）	対応状況
漁港	23	179,660	国予算により、令和元年7月までに復旧完了
漁具・倉庫・ 共同利用施設等	12	139,755	グループ補助金や自己資金等により、令和元年6月までに復旧済み
水産物	9	179,623	自己資金で対応（一部は養殖共済を活用）
合計	44	499,038	-

●主な復旧事例

南君漁港【宇和島市】
陸閘復旧 N=1式



宮窪漁港【今治市】
泊地埋塞復旧 V=953m³



あまご養殖施設【西予市】

